## 長泉さわやかハイク山行報告書

通算山行 NO	NO. 1459	報告者	天野和子
年 月 日	2011年6月5日(日)晴	2万5千	高野山
山名	山 名 高野三山 (摩尼山 1004m・楊柳山 1009m・転軸山 915m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=山			
はな 展望度=あまりなし			
高野三山女人道			
コースとタイム	宿坊「福智院」7:40 出発—バス—中の橋駐車場~摩尼峠8:30~摩尼山		
	8:45~黒河峠 9:10~楊柳山 9:30~転軸山 10:30~奥之院御廟 10:45~		
	中の橋駐車場 11:00~奥の院説明ガイド~バス出発 12:55-下土狩 21:40		
標高差	上り 中の橋約786m~楊柳山1009m=約223m		
	下り "		
参 加 者	L 後藤隆徳、吉田孝夫、村上充彦、小畑 敏、鈴木 務、奈良橋慶行、佐々		
	木文和、濱田 勲、鈴木良江、古藤田静子、小畑美枝子、小野光子、鈴木和		
	代、山本みどり、杉山正子、池田紀子、岡田りつ子、佐々木厚子、長池敏子、		
	天野和子、(運転手・三原) 計20名		

宿坊の朝は早い。6時から本堂でお勤めがあるので、身支度をして本堂へ向かった。すでに大勢の宿泊者で座りきれないほどだった。

ご住職の読経中、順次お焼香して次に皆で「般若心経」を唱和した。最後、ご住職のお話で丁度45分間、荘厳なる場で身が引き締まりました。

朝食後、バスで奥の院入口の中の橋駐車場へ行った。ここから約3時間行程の三山です。と言うのは、11時から奥の院の説明ガイドさんの予約をしてあります。

高野山奥の院を囲む摩尼山・楊柳山・転軸山の三山を称して「高野三山」と言い、 霊峰めぐりができるハイキングコースでもあるそうです。

ここからスタートです。4名は体調を考慮して市内観光に、16名が三山を目指して ぞろぞろと歩きだす。参道を抜けて、摩尼山への登山道との分岐点に差し掛かった。 なだらかな登山道を進む。道はよく手入れされていて歩きやすい。朝日が杉木立に差 し込んで綺麗です。ようやく上りこう配がきつくなって、木の根が浮く斜面を登りよ ると摩尼峠に到着。樅の大木の下に弘法大師を祀る祠があった。祠には鐘があり鳴ら すと「カンカーン」と澄んだ音色が山に響いた。

小休止後、400m程で摩尼山(まにさん)です。鳥のさえずりに「あの鳴き声は、南無大師逼照金剛と言っているんだよ」とSさん。すると「なるほどこの山の鳥は・・・」とNさんが笑いながら答えた。

それを聞いて思わず失笑しました。摩尼山(1004m)着。標識があるので迷うことはない。7分休み尾根伝いに上り下りを繰り返します。途中、黒河峠でも5分休む。摩尼山から45分で楊柳山(ようりゅうさん)(1009m)到着。ここにも祠がある。先頭の講師が鐘を鳴らすので、後方隊には合図となり「もう少しだー」と言って励みとなった。一休みの後に次なる山、転軸山に向かいます。すると「ホーホケキョ」な

んとウグイスの声。この時期にウグイスの声が聞かれるとは思いませんでした。 ここも尾根伝いを上ったり下ったりを何回か繰り返しながら進みます。視界は無いが 大木の感じいい自然林が続く。時には急な木段もありました。そして、"わらび"も 発見。しばらく行くと林道を横断し、転軸山登り口に着く。最後の上りだ、もう一息。







摩尼山頂上

すると講師の鐘の合図が聞こえた。転軸山(てんじくさん)(915m)到着。ここに も祠があった。ことあるごとに祠があり、やはり霊山高野山なる証でしょうか。

アップダウンの繰り返しでも足腰は大丈夫だったけれど、べとつく汗に「温泉に入りたいねー。」小休止後下る。下りはやはり早い。あっと言う間に奥の院横の川に出た。飛び石を渡り、奥の院御廟裏に 10 時 45 分到着。駐車場前で説明ガイドさんと 11 時に待ち合わせ。待たせては申し訳ないので急いで歩く。

高野三山というものの、三山とも眺望が望めずガッカリ、残念でした。しかし、歴 史に想いを馳せながら歩いたので楽しかったです。

その後、市内観光隊と合流し説明ガイドの林氏の話を聞きました。弘法大師御廟のある奥之院は、一の橋から約2キロの参道に樹齢数百年もの杉木立があり、20万基以上ともいわれる名だたる武将・諸大名をはじめ多くの方々の墓碑が建立されている。中でも「崇源夫人五輪石塔」が墓石群の中で最も高く大きいことから「一番石」と呼

ばれ 6.6mある。徳川二代将軍 秀忠の妻で、NHK 大河ドラマ「お江」の墓所だそうだ。因みに「二番石」は「安芸浅野家供養塔」、「三番石」は、「加賀前田家供養塔」で、いずれも立派すぎるし、当時どのようにして運んで積み上げたのかミステリーである。



ガイド・ 林さんの説明





崇源夫人(お江)の <sup>豊</sup>

また、鳥居の違い・墓石に書かれた「逆修」(生前に墓を建立し、死後の冥福を祈る)など、林氏からはいろいろと説明していただきました。途中、私はご朱印をもらうため最後まで聞くことが出来ず残念でしたが、納経所では、達筆なご朱印を有り難く頂戴しました。

時間の都合上ゆっくり見て廻ることが出来ませんでしたが、高野山参拝は有意義で した。ありがとうございました。

## 高野山参拝の感想

- ・ 念願の高野山に来られて良かった。
- 歴史を感じた。
- 早朝のお勤めが荘厳だった。
- 三山を歩けてよかった。
- 大きなお墓にビックリした。
- ・ この会(長泉八十八巡礼会)に、 参加させてもらってよかった。
- 自分達だけでは、なかなか来られない。
- マイナスイオンでリフレッシュした。
- ・ 結願終了後、2巡目の歩きが続いている。
- ガイドさんの話がよかった。
- 歩いていると楽だった。自分自身を褒めてやりたい。
- ・弘法大師の母が「玉依御殿」と知った。
- 三山からは眺望が望めず残念だった。
- ・ "老いは足から"老いに備えて鍛えていきたい。
- またこの会で計画してほしい。参加したい。

講師には大変お世話になりました。 ありがとうございました。